

妊婦の貧血と胎児・母体に及ぼす 影響に関する研究

愛育病院産婦人科

藤 井 仁

1. 研究計画並びに研究経過

本年度は本研究の3年目に当たるため、本研究の主目的である疫学調査に主力を注いだ。すなわち、藤井は調査票の作成とその集計（コンピューター処理）を行ない、その成績をまとめた。

有広、河上、白川は本疫学調査に協力するとともに下記の研究を行なった。

2. 研究結果

- 〔1〕 a) 有広：貧血妊婦の胎盤について、とくに組織学的研究を重点に検索を行なった。そして対象群に比して線維化を著明に認めた。さらに胎盤重量、胎児体重、E_s値などの関連性についても検討した。
- b) 河上：妊婦の貧血の産褥初発排卵に及ぼす影響について、分娩後の追跡を行ない、貧血群に初発排卵時期の遅延することを確認した。
- c) 白川：特殊血液疾患を有する妊婦について、妊娠、分娩経過や新生児の状態を詳細に観察し、その病態を分析検討した。

〔2〕 疫学調査

各研究機関において記入した調査票を中央において集計し、コンピューターによる分析を行なった。調査対象は初診が妊娠満11週以前で、分娩まで継続管理しえた症例で、分娩が昭和54年1～9月までに行なわれたものを選んだ。調査総数は3,776例に達したが、そのうち分析しえた3,441例について検討した。

多数の項目について妊婦貧血との関連性の有無の分析を試みた。その結果、24歳以下の若年初産婦に中等以上の貧血の占める割合が高いこと、また貧血群に浮腫の出現頻度が高いことに有意差が認められた。しかしそれ以外では、高血圧、蛋白尿、胎児仮死、SFDの出現などには、影響を認めることはできなかった。

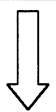
妊婦管理、とくに貧血の検査や治療がよく行なわれている現在において、このような結果はどのように評価すべきか、また将来はどう考えるべきかについても検討を行なった。

「妊婦の貧血に関する疫学調査」参照



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



2. 研究結果

〔1〕a)有広:貧血妊婦の胎盤について,とくに組織学的研究を重点に検索を行なった。そして対象群に比して線維化を著明に認めた。さらに胎盤重量,胎児体重,E3 値などとの関連性についても検討した。

b)河上:妊婦の貧血の産褥初発排卵に及ぼす影響について,分娩後の追跡を行ない,貧血群に初発排卵時期の遅延することを確認した。

c)白川:特殊血液疾患を有する妊婦について,妊娠,分娩経過や新生児の状態を詳細に観察し,その病態を分析検討した。

〔2〕疫学調査

各研究機関において記入した調査票を中央において集計し,コンピューターによる分析を行なった。調査対象は初診が妊娠満 11 週以前で,分娩まで継続管理しえた症例で,分娩が昭和 54 年 1~9 月までに行なわれたものを選んだ。調査総数は 3,776 例に達したが,そのうち分析しえた 3,441 例について検討した。

多数の項目について妊婦貧血との関連性の有無の分析を試みた。その結果,24 歳以下の若年初産婦に中等以上の貧血の占める割合が高いこと,また貧血群に浮腫の出現頻度が高いことに有意差が認められた。しかしそれ以外では,高血圧,蛋白尿,胎児仮死,SFD の出現などには,影響を認めることはできなかった。

妊婦管理,とくに貧血の検査や治療がよく行なわれている現在において,このような結果はどのように評価すべきか,また将来はどう考えるべきかについても検討を行なった。「妊婦の貧血に関する疫学調査」参照